

観光立国推進有識者会議(持ち回り開催) 議事概要

1. 日程

平成 25 年5月 31 日(火)～6月5日(水)

(各委員に対し、事務局にて個別にヒアリングを実施。)

2. 委員一覧:

荻野アンナ 慶應義塾大学文学部教授

白石隆 政策研究大学院大学学長

森田健作 千葉県知事

伊東信一郎 ANAホールディングス(株)社長

大塚陸毅 東日本旅客鉄道(株)相談役

舩山龍二 (株)JTB相談役

森本昌憲 藤田観光(株)顧問

石井至 旅行ガイド出版社社長

岡田裕介 東映(株)社長

三木谷浩史 楽天(株)会長兼社長

3. 議事概要

委員からの主な意見は以下のとおり。

○ASEANのビザ緩和やプロモーションのような短期的な施策を早急を実施し、今年の1000万人を是非達成してほしい。その上で次の2000万人に向けてさらに施策を進めてほしい。

○あまり知られていない日本の地域の魅力を発信することが大切である。

○訪日旅行のコストが高いことは、訪日旅行者の足止めになっている。リーズナブルな宿泊施設を紹介すること等は有効である。

○海外番組枠の買い取りは有効である。

○アニメが有効である。秋葉原文化やコスプレは外国の若者に人気がある。

○自動化ゲートの利用を促進したいのであれば、認知度向上のため自動化ゲートのプロモーションが必要だと考える。

○日本のコンテンツ発信はぜひ進めてほしい。ドラマも含めて日本の広報を目的としたテレビ番組を海外に向けてもっと発信すべきである。

○国においても、ブランディングやマーケティングはより高い戦略的な視点が必要。

○観光スポットに Wi-Fi を増やすべきである。

○MICE の観点から言うと、収容人数が多く、Wi-Fi も使えるホテルは都内に少ない。多くのホテルで Wi-Fi が使えずブロードバンド環境が悪い。施設拡充が望ましい。

○「信頼できる渡航者」の自動ゲート対応は是非進めてほしい。

- 美術館等の解説の多言語化は対応が必要。
- ハラル対応は是非やってほしい。
- MICEのユニークメニューの活用は良い話である。
- フランスや韓国の大使の仕事の一つは、自分の国のPRを行って、いかに自国に来てもらうか、ということだそうだ。もっと日本は観光のPRをするべきだと言っていた。

以上